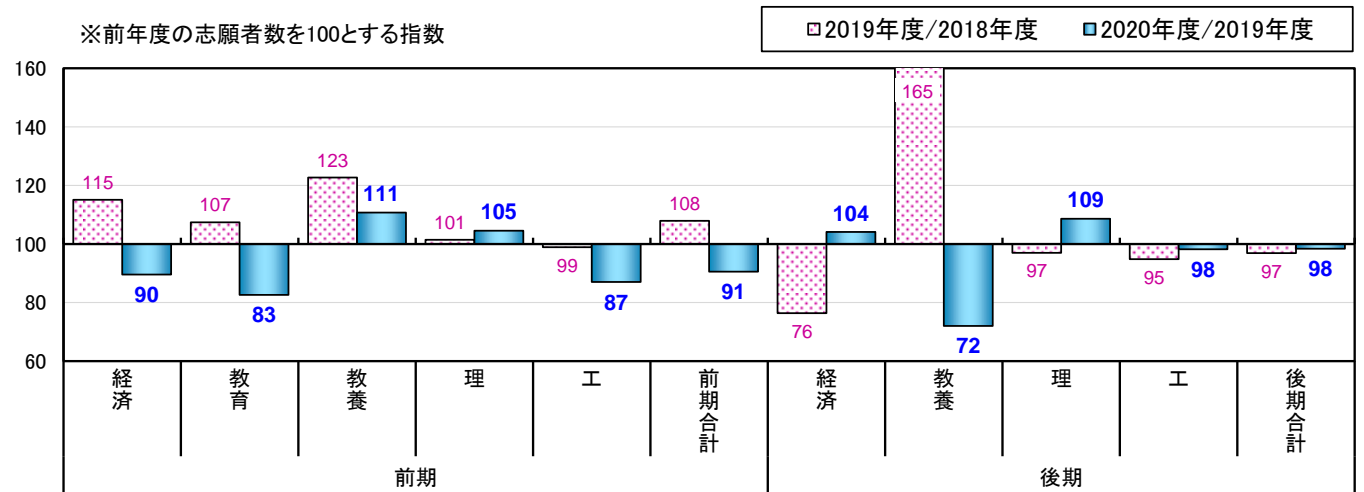


2020 年度入試状況分析【国公立大】

埼玉大：前期は減少で、特に教育が大幅減少、後期は微減 前期：-307人 後期：-48人



入試変更点 選抜方法：経済<国際枠><前>
 …英語外部試験の対象試験＝IELTS、TOEFL iBT、TOEIC LR、TOEFL PBT
 →GTEC(4技能)、GTEC CBT、IELTS、TOEFL iBT、TOEIC LR

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度増加の反動で307人(91)の減少。学部別では、教育(83)が大幅減少。後期は48人(98)の微減だが、2年連続減少。学部別では、教養(72)が前年度激増の反動で大幅減少。

<前期日程>
 ○**経済(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。方式別では、<一般枠>(87)は前年度大幅増加の反動で減少。一方で、<国際プログラム枠>(105)は前年度大幅増加の反動はなく、さらにやや増加して3年連続増加。
 ○**教育(83)**、大幅減少で前年度のやや増加から再び減少に転じた。課程・コース・系・専修・分野(以下「募集単位」)別では、18募集単位中6募集単位が増加だが、(学校教育/中学言語文化-英語)(113)を除いた募集単位はいずれも大幅増加。一方で、減少した12募集単位中8募集単位が大幅減少で、(学校教育/中学芸術-音楽)(63)の減少が最も目立った。
 ○**教養(111)**は、前年度大幅増加に続いて2年連続増加。
 ○**理(105)**は、やや増加で3年連続増加。学科別では、(分子生物)(213)は前年度ほぼ半減の反動で倍以上の増加、(生体制御)(118)は2年連続大幅増加、一方で(基礎化学)(88)は2年連続減少、志願倍率も5年連続で3倍を下回った。
 ○**工(87)**は、前年度の微減に続いて2年連続減少。学科別では、前年度大幅減少の反動で(情報工)(152)が大幅増加、一方他の4学科はいずれも大幅減少で、旧(電気電子システム工)から3年連続増加の反動による(電気電子物理工)(58)の大幅減少が目立った。

<後期日程>
 ○**経済(104)**は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。
 ○**教養(72)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 ○**理(109)**は、4年連続減少の反動で増加。学科別では、5学科中2学科が増加したが(物理)(130)、基礎化学(117)のいずれも大幅増加。
 ○**工(98)**は、微減だが2年連続減少で、志願倍率も2年連続で6倍を下回った。学科別では、前年度大幅減少の反動で(情報工)(135)、(応用化学)(118)が大幅増加。一方で、(環境社会デザイン)(66)、(電気電子物理工)(68)は大幅減少。